

世界人権宣言 75 周年記念 京都ヒューマンフェスタ 2023 開催業務 業務仕様書

第1 業務の名称

世界人権宣言 75 周年記念 京都ヒューマンフェスタ 2023 開催業務

第2 趣 旨

一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現を目指して、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」という世界人権宣言の理念をあらためて確認するとともに、参加者が人権問題について気づき、考え、人権問題を解決するための行動につながることを目的に、総合的な参加体験型のイベントを開催する。

第3 日時・会場

日時：令和5年12月9日（土） 午前10時30分から午後4時（予定）

会場：京都市勧業館（みやこめっせ）（別紙1「みやこめっせ使用可能会場」参照）

京都市左京区岡崎成勝寺 9-1

第4 主 催

京都人権啓発推進会議、京都人権啓発ネットワーク協議会、京都府

第5 目標参加者数

3,000人以上

第6 委託業務内容（全般）

- 1 イベントの企画、制作等一式（実施計画書、運営マニュアル、進行台本等の策定含む）
- 2 イベントの進行、演出、運営管理等一式（出演者の駐車スペースの確保含む）
- 3 イベントの会場設営、撤去等一式
- 4 広報宣伝・集客対策
- 5 記録の作成
- 6 その他、府と協議し決定した事項

第7 開催に当たっての留意事項

- (1) 京都府との連絡調整、出演・出演者との連絡調整を緊密に行うため、専属の担当者を置くこと。
- (2) 世界人権宣言 75 周年記念のイベントとして、みやこめっせ内の使用可能会場全体を活用して啓発イベントを行うこと。
- (3) 年齢、性別、障がいの有無、国籍の違いに関わらず、幅広い層の府民が参加でき、楽しみながら人権について学べるよう工夫すること。
- (4) 病気、障害等がありながらも活躍している人や団体の活動などを多くの人に知ってもらい、差別や偏見の解消に努めるとともに、ユニバーサルデザインやソーシャルインクルージョンの理念を普及できるようにすること。
- (5) 本イベントの会場内で「生命のメッセージ展」を同時開催する予定であり、一体感のある催しとなるよう工夫すること。
(なお、「生命のメッセージ展」開催に要する経費は委託費に含まない。)
- (6) 企画・運営の具体化や本仕様書に定めのない事項は、京都府と協議して決定すること。

第8 委託業務内容（個別）

主催者が内容を指定する事業のほか、委託業者提案事項として集客力の高い催事を企画提案、実施すること。

<主催者指定事業>

別紙2「主催者指定事業」掲載のとおり。

<委託業者提案事業>

- (1) 世界人権宣言75周年に当たり、最近の人権に関わる様々な状況を踏まえて、府民一人ひとりが互いに支え合う中で希望が実現できる「共生社会」を築くために、どうすればよいかを考える機会となるようなテーマとサブテーマを提案すること。
- (2) 幅広い府民からより多くの参加を得るため、集客力を有し、かつイベントの趣旨やテーマに合致した出演者を起用し、トークショー等を実施すること。出演者については、京都府と協議の上決定し、謝金等の調整・支払いを行うこと。
なお、開催日までの1年間、同出演者による同様の内容が京都府内において行われていない(予定を含む)ことについて確認を行うこと。また、出演者がSNS等情報発信の手段を有している場合は、同事業の開催告知を当該SNS等により少なくとも1ヶ月前から行うこと。(告知に必要な費用は委託費に含む)
加えて、トークショー等の内容について動画で収録し、京都府のホームページに掲載できるよう動画を編集し、成果品として納入すること。
なお、出演者については、ヒューマンフェスタ出演以外に府が実施する府民だよりや新聞等の媒体において出演をお願いすることがある。(その場合の出演料は、ヒューマンフェスタの出演料に含む)
- (3) 子ども向けコーナーとして、子どもが参加し遊べるような企画コーナーを設置すること。
- (4) SNS等ソーシャルメディアを活用した情報発信や魅力的な企画の提案など、より多くの府民の参加並びに参加者及び出演者・出展者の交流を促す企画を提案すること。
- (5) 第1展示場内にステージ及び映画上映会場の双方を設けるため、音の影響を最大限に抑えるための配置・設備など、会場設営について提案すること。
- (6) 参加者に会場内での長時間滞在と各催事の回遊を促す工夫を提案すること。
- (7) テーマにふさわしい会場設営、運営について提案すること。

1 会場仕様

別添1「みやこめっせ使用可能会場」に掲げる会場を有効に利用して催事を実施すること。

※【】書きのある催事については、当該会場内で実施すること。また、規格に係る長さの単位はmmとする。

(1) ステージ催事【第1展示場】

ステージ及び客席を設置すること。

- ・ステージの規格：7,200 (W) × 4,800 (D) × 600 (H)
- ・客席：300席程度

(2) 行政関係・ボランティア団体・NPO法人等によるブース展示【第1展示場】

① ブースは、25程度を設置すること。

ブースの規格は、2,700 (W) × 1,800 (D) × 2,100 (H) とする。

ブース内には照明（2個以上）、白布付きテーブル（基本：長さ150cm×幅45cm）2本、パイプ椅子4脚、電源（100Vコンセント2口）を設置すること。

※複数の団体が合同のブースを設置する場合がある。（詳細は別途協議）

- ② 各ブースの上部に参加団体名等の看板を設置すること。
- ③ 各出展者から追加備品の要望があった場合は、依頼者の実費負担を原則として可能な限り応じること。（会場付属設備の範囲内の備品は委託費に含まれる）
- ④ 出展者ブース内の設営について補助すること。（設置に必要なS字フック、チェーン、

- マジックテープ等は委託費に含まれる)
- ⑤ 設置する電器製品に対応した電気容量の工事を行うこと。（工事費及び追加で発生する電気代については委託費に含まれる）
 - ⑥ ブース近くに飲食が可能な休憩スペース（椅子、テーブル）を設置すること。
 - ⑦ 主催者が指定する出展資料等は、会場までの搬送及び返送を行うこと。
 - ⑧ 各出展者1台分の駐車場を確保すること。（駐車料金は委託費に含まれる）
- (3) 「ギア」出張パフォーマンス【第1展示場】
- ① 必要な会場の仕様については別途協議のこと。
 - ③ 出演料及び必要な経費は委託費に含まれる。
- (4) 映画上映会【第1展示場】
- ① 上映会場を設置すること。客席は80席とする。ステージ催事や他のブース等への音の影響が抑えられるよう、場所や設備に最大限配慮すること。
 - ② 拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のほか、映画1作品を上映すること。上映する映画については、主催者から指示。（「めぐみ」の上映費用は委託費に含まない。）
 - ③ 上映に必要な人員の配置及び機材（スクリーン、音響機器・再生機等）を設置すること。
 - ④ 上映に係る費用は委託費に含まれる。
- (5) NPO法人共同企画コーナー【第1展示場】
- ① 必要に応じ、長机や椅子等を準備すること。（詳細は別途協議）
 - ② 京都府の指示により、共同企画の立案・調整のため、NPOが実施する会議等に参加すること。
- (6) 子ども向けコーナー【第1展示場】
- 企画の内容に応じ、第1展示場内で必要なスペースを確保して実施すること。
- (7) 人権相談コーナー
- ① 弁護士による人権問題法律相談及び人権擁護委員による特設人権相談を実施すること。
なお、弁護士への謝金等の支払いは京都府が行う。
 - ② 様々な人権相談等を、気軽に落ち着いて相談できる専用スペースをそれぞれ確保すること。
 - ③ 来場者に会場内で人権相談を行っていることを周知できるよう工夫（事前告知及び当日）を行うこと。
- (8) 保育ルーム
- ① 保育ルームは、一般社団法人京都府保育協会の協力を得て設置すること。
 - ② 畳又はカーペット、布団及び保育士の昼食（3名分）を準備すること。
 - ③ 一般社団法人京都府保育協会への事前依頼、保護者からの申込受付、保育士への賃金の支払いは京都府が行う。
- (9) 授乳コーナー
- 授乳コーナーを設置すること。
- (10) 関係者控室、主催者実施本部（京都府控室）
- 来賓、ゲスト、京都府人権啓発イメージソング広め隊関係者、「ギア」出張パフォーマンス関係者、まゆまろ、ステージ発表者の控室並びに人権啓発推進室及び安心・安全まちづくり推進課（「生命のメッセージ展」主催）の主催者実施本部（控室）を設置すること。

2 運営・管理

- (1) 各催事会場においては、手指の消毒設備の設置により感染症対策を実施すること。
- (2) ステージ催事の進行に当たる司会者を配置すること。
- (3) 来場者及び関係者の安全を十分に配慮した警備員を配置すること。
- (4) NPO法人等各種団体の出演・出展を補助するスタッフを配置すること。
- (5) 最寄りの鉄道駅やバス停留所から会場までの誘導スタッフを配置すること。
- (6) イベント保険（対人：1億円・対物：1,000万円保障程度）に加入すること。

- (7) 事前申込み又は整理券対応が必要なイベントについては、京都府の指示によりその事務を行うこと。
- (8) 参加者アンケートを実施し、集計・分析すること（アンケート項目は京都府と協議して決定。回収率向上のための方策を講じること。）。

3 会場借り上げ等

- ① 会場使用料の支払いを行うこと。（延長利用料を含む）
なお、主催者にて確保している時間は、別紙1「みやこめっせ使用可能会場」記載のとおり。
- ② 会場付属設備及び備品の使用料、光熱水費、清掃作業料を支払うこと。

4 会場設営

- ① 設営・撤去
設営及び撤去は、次の時間までに完了すること。
 - ・設営：前日12月8日（金）の午後5時まで
（ただし、NPO法人及び各種団体・行政関係の出展ブースは午後1時まで設営を完了し、NPOが行うブース設営及びステージでのリハーサルの時間を確保すること。）
 - ・撤去：当日12月9日（土）の午後9時まで
- ② メインステージには、手話、要約筆記を配置すること。
なお、手話、要約筆記設置に要する経費（派遣費用含む）は委託費に含まれる。
- ③ 設営に当たっては、高齢者や障害者等様々な方が利用されることを想定し、わかりやすい表示や動線の確保、バリアフリーに対する配慮や難聴者補助システムの設置を行うこと
- ④ 総合受付及び総合案内コーナーを設置し、資料等を配布すること。
また、イベントの開催が会場外からわかるよう表示・看板等を工夫するとともに、来場者数に見合ったステージの設置や机・椅子の配置を行うこと。
さらに、看板など舞台装飾を行うとともに、必要な映像、音響、電気設備の設置を行うこと。
特に音響については、会場と調整し、各イベントと会場内音響の特性を把握して設営すること。
- ⑤ 会場への誘導のため、会場周辺に案内看板を設置するとともに、主要駅にも看板の設置などを行うこと。
また、会場内にも来場者に分かりやすい案内誘導表示を必要な箇所に設置すること。

5 警備、救護、清掃関係

- ① 警備については、主要駅から会場周辺の安全確保（歩行者及び自動車、自転車等二輪車の交通整理を含む）及び会場内の来場者の安全確保のために必要人数を配置すること。
- ② 障害のある人等がスムーズに来場（車椅子の誘導、自動車の駐車等）できるよう必要人数の警備員を配置すること。
- ③ 来賓や著名人出演による催事の場合など来場者及び出演者の安全に配慮した警備を行うこと。
- ④ 不測の事態に備え、救護室を確保するとともに、看護師を必要人数配置すること。
- ⑤ 清掃については、開催期間中、清掃する要員を配置し会場内及び関係箇所の美化に努めるとともに、ゴミの処理を行うこと。

6 広報

(1) 印刷物（ポスター、チラシ）

下記部数を作成し、主催者が指定する場所に納品すること。

- ア ポスター
- 体 裁 B3判
- 印 刷 フルカラー片面刷り

紙 質	コート紙、米坪：127.9g/m ²
インキ	大豆油インキを使用
枚 数	1,000枚
イ チラシ	
体 裁	A4判
印 刷	フルカラー両面刷り
紙 質	コート紙、米坪：104.7g/m ² 程度
インキ	大豆油インキを使用
枚 数	30,000枚

※ 校正は主催者が校了とするまで行う。

※ PDF及びJPEGファイル(1000KB程度)も主催者に納入すること。

(2) その他広報

独自の積極的かつ具体的な広報・集客戦略を提案すること。

7 当日配付資料

プログラム等(主催者指定資料含む)は、当日会場で配布できるよう袋に入れて準備すること。

(1) プログラム

体 裁	A4判・8頁
印 刷	フルカラー両面刷り
紙 質	コート紙、米坪：104.7g/m ² 程度
インキ	大豆油インキを使用
部 数	3,000部

※ PDF及びJPEGファイル(1000KB程度)も併せて主催者に納入するとともに会場においてスマートフォンなどにダウンロードできる体裁にすること。

(2) アンケート用紙

体 裁	A4判
印 刷	単色両面刷り
紙 質	上質紙、米坪：81.4g/m ²
インキ	大豆油インキを使用
部 数	3,000部

※ 併せて、筆記用具も準備すること。

(3) エコバック

体 裁	来場者向けプログラム等資料を封入可能な袋
部 数	3,000部

第9 報告書の作成等

- 1 報告書は、各催事の概要を出展・出演者の写真、各コンテンツの画像、広報印刷物等の成果品、当日のサイン、警備の状況、アンケート結果等、実施した項目全てを記載した内容として、「京都ヒューマンフェスタ2022実施報告書」を参考に作成すること。併せて、報告書のデータ(パワーポイント又はPDFファイル)を提出すること。
なお、著名人による講演会等の催事が実施される場合は、講演要旨録(2,000字程度)を作成すること。
- 2 写真は、主催者にJPEGデータで納品すること。
- 3 納品された報告書の内容及びJPEGデータは、主催者が作成する本件事業についてのホームページや印刷物等に使用できるものとする。
- 4 来場者アンケート調査を行い、その集計、分析を行うこと。集計方法は、「京都ヒューマンフェ

スタ２０２２実施報告書」と同程度の内容とすること。

- 5 参加人数の集計（時間別、ステージ等、イベント内容別）を行うこと。

第10 留意事項

- 1 業務の円滑なスケジュール調整に努めること。
- 2 納品データ等、委託業務に係る著作権は、甲に帰属するものとすること。
- 3 契約期間はもとより、契約終了後も、当該事業で知り得た秘密、個人情報等の取扱いについて厳守すること。
- 4 本業務仕様書について、疑義が生じたとき又は定めのない事項や細部の業務内容については、協議の上で適宜決定する。

別紙 1

みやこめっせ使用可能会場

(※会場費及び附属設備費は委託費に含まれます。)

地下 1 階 展示場 (付属する会場)

主催者側で確保している時間

第 1 展示場 (1,480 m ²)	12 月 8 日 (金)・9 日 (土)、両日 9 時～17 時
特別展示場 A 面 (200 m ²)	12 月 8 日 (金)・9 日 (土)、両日 9 時～17 時
第 1 控室 (第 1 展示場に付属)	12 月 8 日 (金)・9 日 (土)、両日 9 時～17 時

地下 1 階 会議室、工芸実技室

主催者側で確保している時間

第 1 商談室	12 月 8 日 (金)13 時～17 時、12 月 9 日 (土) 9 時～17 時
特別会議室 (36 m ²)	12 月 8 日 (金)13 時～21 時、12 月 9 日 (土) 9 時～21 時
大会議室 (182 m ²)	12 月 8 日 (金)13 時～21 時、12 月 9 日 (土) 9 時～21 時
第 1 会議室 (52 m ²)	12 月 8 日 (金)13 時～21 時、12 月 9 日 (土) 9 時～21 時
第 2・3 会議室 (各 52 m ²)	12 月 8 日 (金)13 時～21 時、12 月 9 日 (土) 9 時～21 時
工芸実技室 (104 m ²)	12 月 8 日 (金)13 時～21 時、12 月 9 日 (土) 9 時～21 時

主 催 者 指 定 事 業

	催 事	会 場	内 容	経 費
ス テ ー ジ 催 事	オープニングセレモニー	第1展示場	①開催趣旨説明・主催者挨拶 ②世界人権宣言75周年京都アピール ③人権擁護啓発ポスターコンクール表彰式 (写真撮影含む) 【留意事項】 ・多数の来場者の参加の下、印象深いものとなる演出をすること。 ・人権擁護啓発ポスターコンクール表彰式については、知事賞をはじめ12団体賞の表彰をすること。	対象
	法務省人権作文コンテスト入賞作品朗読発表		法務省人権作文コンテスト入賞者1名による作文朗読	対象
	京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」広め隊ステージ演奏		京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」10周年を記念する広め隊アーティストによるステージ演奏 【留意事項】 ・多数の来場者の参加の下、印象深いものとなる演出をすること。	対象外
	「ギア」出張パフォーマンス①		ノンバーバルシアター「ギア」のステージショー	対象(※1)
	NPO法人等共同発表		複数のNPO法人等の団体が共同で実施するステージ発表	対象外
	エンディングイベント		【留意事項】 ・多数の来場者の参加の下、印象深いものとなり、かつ区切りの良い閉会ができるように演出を工夫すること。	対象
ス テ ー ジ 外 催 事	行政関係、NPO等各種団体出展	人権問題に関わる行政機関や各種団体の活動等を紹介するブース展示	対象	
	NPO法人共同企画コーナー	NPO法人が共同で実施する企画コーナー	対象	
	「ギア」出張パフォーマンス②	ノンバーバルシアター「ギア」のワークショップ	対象(※1)	
	映画上映会	拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の他、映画1作品の上映	一部対象(※2)	
	ポスターコンクール作品展	人権擁護啓発ポスターコンクールの優秀作品(100点)の展示	対象	
	人権相談コーナー	弁護士による人権問題法律相談、人権擁護委員による特設人権相談	対象外	
	生命のメッセージ展	京都府文化生活部安心・安全まちづくり推進課主催の展示会	対象外 (同時開催する催事)	

※1 ステージショー及びワークショップを合わせて60万円(税込)を見込むこと。

※2 「めぐみ」は対象外。他の1作品について上映素材に要する経費として12万円(税込み)を見込むこと。